

産業技術総合研究所 くばの目指す つ事業化

化しており、保有する特許権等は国内約1万件、海外約3,500件の計約1万5,000件で、国内に研究機関としては最大の規模。産総研の研究成果をベースとした新製品や新サービスが生まれ

知識やロボットなどを
いった情報・人間工学
領域が37件と多いが
ほかにもエレクトロニクス、
製造、エネルギー、
環境、材料・化学など
多くの領域がある。産業
総研発ベンチャーの所
在地は、1位が茨城県で、
29社で、次点に東京都

談ができる。
さらに、外部機関
とのネットワーク「A
LIST」スター・アッ
ブル・スクラバー」を構築
しており、ビジネス
マッチングやシンポジ
ウムの開催、金融機関
への紹介、会員を通じて
事業提携や資金調達

みに力を入れている。
技術ソリューションの事業化の方法は大きく分けて二つある。一つが既存企業への特許権などの知的財産権のライセンスによる技術移転、二つ目が技術販売ベンチャーナーを創業して事業化するという方法だ。有望な技術ソリューションを世に出していくことで、研究開発費を捻出することで、社会貢献度を高めて考えた。

創薬や医療機器の生命循環の技術領域は幅広い。創薬や医療機器の生命循環の技術領域は幅広い。

設立手続のアドバイスなど、
斯なの支援を行つた。
産総研から、ベ
チャードを立ち上げた
合の支援策も充実さ
れている。産総研が持
技術シーズに関する
知識的財産権を有する
現するほか、独占的
実施権を与える。また
た、産総研が顧問契
約を結ぶ弁護士などを

産業技術総合開発研究所（産総研）は、研究開発を蓄積した技術シーズを世の中に生かすための取り組みに力を注いでいる。大企業だけではなく中小企業への技術紹介やベンチャー創出などを通じ、社会へ技術移転を強化している。これは、その最近の取り組み、および実際に産総研ベンチャーとして活躍する専門企業を紹介する。

の26社、3位に海道の9社とく。
産総研におけるベンチャースタートアップの取り組みは、従来的な取り組みと並んで、2年間の「ススター」、2年間の「アッパー」、2年間の「ランナー」、2年間の「マラソン」、2年間の「マラソン」がある。ビジネス経験や知識が豊富な人材をスライダー、アップ、アドバイザリー、ベンチャーライフサイクル、あるいは人材をスライダー、アップ、アドバイザリー、ベンチャーライフサイクル、あるいは人材をスライダー、

所（産総研）が現在注力する取り組みを教え
てください。

目標に掲げてゐる共
同研究の由で、企業
に資金を貸してもらひ
て取り組むのがよろ
しく思ひます。企業と
では細かい部分の確
定のところが問題の
ものがある。我々は
前者のうちに企業によ
り「コム」してもらひえ
らるべく研究開発を増
進めていく。産総研
は現在、産総研

A black and white portrait of a middle-aged man with dark hair and glasses, wearing a dark suit, white shirt, and striped tie. He is smiling slightly and looking towards the camera.

「まだ、基礎技術の研究に関しては、より目的を重視した『目的的基礎研究』を強化していく。単に面白いから研究するのではなく、社会に意義を説明できるような基礎研究をするのが、今後の大きな課題である。さらに、大学や大学院の学生たちが、各地域の公設試験機関（公設試）など

産総研理事・イノベーション推進本部長

瀬戸政宏氏に聞く

スタートアップ開発戦略タスクフォース

- ・ビジネスモデルの構築
- ・資金調達、販路開拓に
関する交渉等
- ・ベンチャー創業後は
CEOとして参画

アドバイザーチーム

研究者

- ・試作品、製品の開発
- ・知的財産の強化
- ・ベンチャー創業後は
CTO(最高技術責任者)
として参画

産総研技術移転ベンチャー つくばテクノロジー
高坪 純治 氏(元産総研職員)に聞く

以上離隔で使うには利便性を高めた
うにこのほか、20年3月の東日本大震災
を機に、同月からの個人線量計の製品化
が開始した。これまで納品数は2万台を
越えており好評だ。1上バッテリーが持
続もあり、福島で用が広がっている
一 廣 研究所



創業支援技術を社会へ
ベンチャーキャピタルによる
スタートアップ支援の特徴的な取り組み
に、創業前に行う
2年間の「スタートアップ開拓戦略マスク

フ」がある。(二)このほか、研究者等が資金を投入して2年か
けてベンチャーキャピタルによる起業を
目指すものでは、ジニア
クフオーネ(二)である。ジニアの
経験や知識が豊富で、
「ベンチャーキャピタル」としては、
ある人の材をスタート
アップ・アドバイザーとして、
技術開拓する。
ベンチャーキャピタルによる
スタートアップ支援の特徴的な取り組み
に、創業前に行う
2年間の「スタートアップ開拓戦略マスク

フ」がある。(二)このほか、研究者等が資金を投入して2年か
けてベンチャーキャピタルによる起業を
目指すものでは、ジニア
クフオーネ(二)である。ジニアの
経験や知識が豊富で、
「ベンチャーキャピタル」としては、
ある人の材をスタート
アップ・アドバイザーとして、
技術開拓する。

の部の職員の方にも産総研のイノベーションコーディネーターとして、現職の世界は、従来の産総研が力を入れて開拓していった分野である。企業との活動していく中で、いよいよ今後は、より多くの企業が産総研を訪れるようになっていくことになる。した職員は現在56人で、地域の中型企业の人で、地域の技術開発を担うため企業の紹介、企業技術の紹介、企業の二つの聞き取り活動(?)をしていく。産総研では、もってね、合計20人以上のイノベーションコーディネーターが活動している。

この26社、3位に北海道の9社と統合され、事業規模がある企業に期待持つが、来年にかけて、一貫して、事業規模がある企業が、また、県内地域である関などとの連携によって進んでい

する」ことを自指してい
る。また、基礎技術の開
発部門では、より自
由闊達には、より自
由な組織としての目
的を確立した目的基
準を強化していく
。單に面白いからや
うな「うまいこと」
などではなく、「なぜ
か」「どうして」の理
由を明確に説明でき
る基础研究とい
うべきである。それが、
地域や大学院の先生
たちが公設試験研究
所などの
「あそび、各都道府県
の公設試験研究
所」によるもので、
現在は約70人まで増
えている。このうち31
人が大学院の出身者
になっている。

瀬戸政宏

ある。産総研の技
「他の機関との連携に
な

げることを目標に、他の地域にもこの活動に当たる。既に

する」ことを自指してい
る。また、基礎技術の開
発部門では、より自
由闊達には、より自
由な組織としての目
的を確立した目的基
準を強化していく
。單に面白いからや
うな「うまいこと」
などではなく、「なぜ
か」「どうして」の理
由を明確に説明でき
る基础研究とい
うべきである。それが、
地域や大学院の先生
たちが公設試験館で
なっている。
加えて、各都道府県
機関(公設試)などの
人材の育成に努めて
いる。この人材を私た
ちは「インテリージョン
コーディネーター」と呼
んでいる。01年度から
昨年度までの第1~3
期(3年)で、約20~30人程度